令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

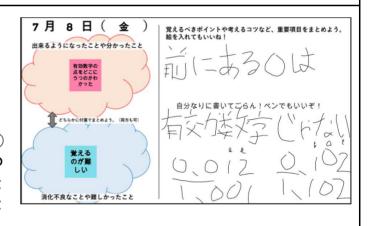
学 校 名			岡山県立備前緑陽高等学校		
実践者等			岡村 悠太郎	実践日	令和4年7月
実践場面 (教科·科目(単元名)、学校行事等)			物理基礎、物理		
対象生徒(学年等)			普通科 1 ~ 3 年		
育成を目指す資質・能力			□知識・技能 □思考力・判断力・表現力等 ■学びに向かう力・人間性等		
分類	授業中	■クラウドやアプリの活用 □ デジタルデータの保存 ■思考やデータの可視化			
	■データの共有や共同編集 □対話を充実させる活用 □思考を促す活用				
■表現を充実させる活用 ■課題のやり取りと評価の支援 □効率化や]効率化や省力化	
	□その他()				
	^{家庭学習} ■振り返り □探究 □反転学習 □補習・定着				

実践の内容

【授業】

授業の振り返りにアウトプットシート を作らせる。

Jamboardで「アウトプットシート」と題して作らせた。これにより、①回収の手間が省ける、②生徒もいつでも閲覧、編集可能、③なくすことがない、というメリットを得ることができた。



- ・ 「アウトプットシート」は面倒になると続かないので、授業で何を学んだか(何が 理解できなかったのか)を明確にすることを最大の目的にし、できる人は授業のポ イントもできるだけ端的にまとめるよう指示を出している。
- ・ 「アウトプットシート」の評価については定期考査ごとにまとめて行うことにした。毎授業ごとに何人かの作品は見るが、全員の作品を見て評価するのは現実的ではないと考えた。評価の基準は「授業の目的を意識して主体的に受けているか(何を学び何を理解できなかったのかを明確に記述しているか)」とした。

【本時と家庭学習の連動】

(本時前)前時のアウトプットシートを閲覧し思い出しておく。

(本時後) 授業内に作りきれなかったものは家庭でその続きを行う。